

# 2020年度 自己評価計画書

星稜中学校

具体的な取り組み		現 状	評価の観点 達成度判断基準
<b>生徒指導 — 基本的生活習慣の確立 —</b>			
①	けじめある学校生活を送るために、登校時間を守り、授業開始のチャイムと同時に着席する習慣を身につけさせる。	年間を通じて、遅刻者の数は少なく、規則正しい学校生活を送ることができている。学校生活アンケートによる意識を高める自己評価を実施。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
②	明るく元気な挨拶、正しい言葉遣いの励行により、礼儀作法を身につけさせる。	部活動を通じての指導も行き渡っており、中学生らしい元気な挨拶や言葉遣いができている。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
③	掃除や身の回りの整理整頓に心がけ、環境美化に努めさせる。	部活動の荷物が多いため、机間巡視がしづらい場合がある。また、放課後に部活動の更衣に使用しているため、その後の掃除・整理整頓に心がけさせる。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
④	自転車マナー・ヘルメットの着用など交通法規を守り安全な登下校に努めさせる。	警察署の方を招いての交通安全教室や、自転車通学説明会などを実施している。ヘルメットの着用は徹底されているが、顎紐を緩めている場合がある。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
<b>学習・進路指導 — 6年間の一貫指導における難関大学への進学を目指す。 —</b>			
①	学力向上のために、習熟度授業・実力試験・補充授業等を積極的に実施するとともに、毎日の家庭学習を定着させる。	習熟度授業は、国語・数学・英語で実施している。家庭学習の定着のために各教科の連携が課題である。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
②	学習と部活動の両立を目指し、生徒がそれを実現できるように配慮し、指導するように努める。	期末評価30点未満の教科には課題を与え、個別指導を行なっている。また、各学期末に確認テストを実施している。部活動の練習停止の措置を行なっている。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
③	ICT教育の導入により、タブレットPCを授業や家庭学習で活用し、学習の効率向上に役立てるように努める。	2019年度より、タブレットは全学年生徒1人1台持ち、授業等で積極的に活用している。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
<b>部活動 — 全国大会の出場を目指す —</b>			
①	部活動での全国大会出場を目標とする。	2019年度は、野球部・ゴルフ部・トランポリン部、水泳部、スキー部で全国大会出場があった。	成果指標 A：4競技以上出場 B：2～3競技出場 C：1競技出場 D：全国大会出場なし

②	部活動に対して十分な指導と支援を行なうことによって、生徒の技能が向上するとともに、人間的にも成長できるように努める。	高い意識の部が多いため、他校と比較しても素直で真面目な生徒が多く、生徒の交友関係も良好である。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
---	--	---	--

## 生徒募集活動

①	<p>学校要覧及び学校案内はもちろん、生徒募集に関わるすべての企画において、中高一貫教育を柱とする本校の新しい教育活動の認知度が高まる広報活動を行う。</p> <p><b>【生徒募集に関わる企画】</b>  *学校要覧  *学校案内（通常）  *学校案内（簡易版）  *学校見学会（2回）  *学校説明会  *学校行事公開  *公開授業</p>	中高一貫教育が始まり、まだ4年目であるため、中学校と高等学校の統一感ある広報活動が十分整備されていない。	成果指標 A:4項目以上で達成できた B:3項目以上で達成できた C:2項目以下しか達成できなかった D:取り組めなかった
②	昨年度に引き続き、InstagramなどのWeb広告、雑誌への掲載広告を、中学生の入寮できる寮の完成に伴い全国の小学生対象に行う。	石川県、富山県対象の広告を行っている。	成果指標 A：できた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
③	学校説明会と学校見学会の参加者合計 370名以上、志願者 150名以上を目指す。学校見学会は、回数を増やし7月と11月に2回実施する。	学校説明会 8回実施。個別相談会を実施し保護者の満足度は大きかった。学校見学会は十分にできた。令和元年度は、学校見学会と説明会を含めて 391名、志願者 130名であった。	成果指標 A：志願者 150名以上 B：志願者 130～149名 C：志願者 110～129名 D：志願者 109名未満
④	小学校訪問・塾訪問を積極的に行い、関係強化に努める。	2019年度は小学校訪問を金沢市とその周辺の市まで行なった。資料配布は県内すべての小学校に行なった。また、塾訪問も積極的に行ない、富山県呉西地区まで拡大した。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった

### 「成果指標」について

それぞれの項目の成果指標は、学校生活アンケートと保護者アンケートの下記の質問番号の回答により、**A：できた(80%以上)・B：概ねできた(70%以上)・C：やや不十分だった(60%以上)・D：不十分だった(60%未満)**の4段階で達成度を判断する。

※ 学校生活アンケートの場合は「できている・概ねできている」を選択したパーセンテージ。

※ 保護者アンケートの場合は「当てはまる・どちらかと言えばあてはまる」を選択したパーセンテージ。

生徒指導

- ① 学校生活アンケート**①**
- ② 学校生活アンケート**②・③・④**
- ③ 学校生活アンケート**⑤**
- ④ 学校生活アンケート**⑥・⑦**、保護者アンケート**⑩**

学習・進路指導

- ① 保護者アンケート**①・②・③**
- ② 保護者アンケート**⑦**
- ③ 学校生活アンケート**⑨・⑩**

部活動

- ② 学校生活アンケート**⑪・⑫**、保護者アンケート**⑧**